

RELATIONS MAGAZINE!

関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」季刊誌
2024 September vol.16



【特集】
高校生と地域の青年が
未来と普通を考える。

RELATIONS MAGAZINEバックナンバー

2020年春より発行してきたRELATIONS MAGAZINEのバックナンバーはWEBよりご覧いただけます。紙媒体での送付をご希望の方は、お気軽に事務局までお問合せください。

- Vol.8 持続可能な地域の未来を考えるテキストブックを作成しました!
- Vol.9 【特集】浜益版集落の教科書ができました
- Vol.10 "リレフェス22"オンライン関係人口フェスティバル開催決定!
- Vol.11 オンライン関係人口フェスティバル"リレフェス22"開催しました!
- Vol.12 持続的な北海道に向けた関係人口を活用した次世代育成事業活動報告書
- Vol.13 地域に関わる若者たちの取組紹介小さなチームとチャレンジが生まれる場づくり。
- Vol.14 地域に滞在すること。～厚真町長期滞在プログラム参加者より
- Vol.15 石狩市浜益×関係人口10年の歩み



Vol.1～12は休眠預金を活用した「北海道未来社会システム創造事業」の助成を受けて作成しました。

関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」とは

179リレーションズでは、北海道各地の"地域に関わる「入り口」"をつくります。ひとつひとつのまちや活動に注目し、住んでいる場所や世代を超えて誰もが対等な関係性を大切にしながら、若者をはじめとする次世代の担い手が育ち、変化に強い持続的な地域がつくられていくことを目指します。

特に以下の項目を重点項目として展開しています。

- ① 「関係人口」創出により、地域外の若手人材を地域の活動へ巻き込みます。
- ② 地域内の若者が、主体的に展開する様々な活動と連携します。
- ③ 関係人口創出WEBマガジン「179RELATIONS.net」から参加する若者のリアルな声をお届けします。

季刊誌「RELATIONS MAGAZINE」では、179RELATIONSの最新情報やホットな話題をお届けします。みなさんとの連携のきっかけになればと思いますので、気になる情報や活動がありましたらお気軽にお問合せください。



運営団体「NPO法人ezorock」とは



“ezorock”は、「社会を揺り動かす」という理念のもと、2000年に行われた「RISING SUN ROCK FESTIVAL」における環境対策活動をきっかけに2001年4月に設立されました。青年層のネットワーク拡大とともに、北海道の地域課題に対して、若者のアイデアやパワーを届ける事業を展開。活動を通して若者が自らの人生と社会を切り開いていく機会を作り出しています。

2023年度実績
活動日数 387日 人数 のべ1,230人 地域 21市町村

関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」季刊誌

RELATIONS MAGAZINE!

PRODUCED BY ezorock 

〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-7

TEL/FAX 011-562-0081

E-mail info@ezorock.org

WEB <https://www.ezorock.org/>

 <https://lin.ee/ugUhj0g>

 <https://www.facebook.com/ezorock/>

 <https://twitter.com/ezorock/>

<https://179relations.net/>



<https://www.ezorock.org/>





第一回目の授業には、TOMOSのメンバー3名が標津高校を訪れました。第二回の授業は、2024年12月に実施を予定されています。第二回目も楽しみです。

TOPIC 2

高校生との対話

今回実施されたのは、自己形成と生き方への理解と思索を深め、自己の確立を促すことを目的に、「ふつう」とは何が考え、自分とは違う価値観に気がつくことを目標に、標津高校生5名を対象にした授業です。大人と高校生が混ざったグループでのディスカッションを行いました。事前の交流などではまちについての質問も多く、好きなところや移住者ならでの視点を聞くものもありました。高校生の振り返りからは「普通」という言葉は便利で、何気なく使っているけれど、人によって感じ方や価値観は違い、難しい言葉だと感じた」という声が多くあったようです。

標津高校倫理担当
北海道遠隔授業配信センター横平麻紀子

ふつうってなんだろう

若者によるまちづくり事例

高校 × 地元の若者

標津高校 × eastend torch TOMOS

北海道内各地では地域内外から若者たちが自分たちのまちを、これからのまちを考えて活動しています。今回は、標津町の若者が地元高校の授業に携わった事例です。



写真 標津高校での授業の様子

TOPIC 3

繋がりが次のつながりへ

TOMOSはしべつ未来塾を卒業したけど、まだ何かやりたい、という人が集まって活動している団体です。現在は毎月ゴミ拾い活動をメインにしていますが、ライフステージの変化などからメンバーが集まりにくいことも増え、他の活動を広げかねていました。その間もanonoxさんにはずっと気にかけていただき、標津についての依頼が入ったら真っ先にご相談いただけるとも嬉しく思います。

標津高校さんにはしべつ未来塾の頃からキャリア学習でお邪魔するなどたくさんお世話になってきました。今回TOMOSとしても関わらせてもらえ、ありがたい限りです。フレッシュな高校生たちの感性を浴びて、アラサー一同も学びたくてはと気持ちも新たにしました。さらにはその後半島の被災地支援を一緒に頑張るなどの広がりもあり、私たちも楽しめる活動でした。12月の第2回も楽しみにしています！



正解はきっとないけれど、答えを探すため、見付けるためにみんなで頭を悩ませる…。高校生よりも我々大人の方が学びの多い授業だったように思います！
(太田亮平 TOMOS副代表)

最近の179リレーションズ

pickup

【179 REPORT】 vol.7「浜益、行ってきました！」配信しました！活動に参加した「行ってきた人」に、活動内容に加えて活動した感想や活動前後での自身の変化などをインタビューする「179REPORT」。今回は、石狩市浜益区で活動している浜益ベースチームでした。活動に参加するようになったきっかけや活動のこと、浜益に対する想いなど聞きました。ぜひご視聴ください！



pickup

オンライン関係人口フェスティバル「リレフェス2024」開催予定！過去2年間実施してきたバーチャル空間で、各地域の活動を紹介し合う「リレフェス」を今年も実施します！フェスティバルをつくるメンバーが動き始めました。
【仮日程】12/14 前夜祭・12/15 リレフェス2024
ぜひ続報をお待ちください！

WEBマガジン最新記事

No250
鷹栖町で過ごした2週間 -As an internship-
No253
「自由」に遊ぶために～月に一度は森づくり



編集後記

しべつ未来塾のみなさんに会ったのは学生の頃でした。なんだか愉快で面白いことをしている方たちがいるのだという印象を思い出します。それから関わらせていただくようになり、「地域には若者がいない」と言うけれど、実はまちに熱い想いを持っていると気づかされたのは標津のみなさんのお陰です。そんなところから「地域に行く」だけではなく、地域を跨いで双方向で繋がりを行っていきたく「179RELATIONS」が生まれました。今回、地元の高校生との活動をご紹介できたことがとても嬉しいです。(水谷)



写真 札幌の若者が標津町を訪れ、しべつ未来塾生に町内を案内してもらったプログラムの様子

楽しいことも、時には喧嘩をしたり、怒ったり怒られたりしながら、まちの未来を考え続けてきたメンバーたち。

TOPIC 1 eastend torch TOMOS とは

知床半島根本に位置する標津町では、2013年より教育委員会が主催となり、まちづくりと青年同士のネットワーク構築を目的にしべつ未来塾が設立されました。TOMOSは卒業生有志のグループ。今回登場するのはしべつ未来塾をきっかけに出会ったTOMOSのメンバーです。

活動と出会いのきっかけはしべつ未来塾。しべつ未来塾とanonoxが出会ったのは、2017年頃。それから標津を知らなかったたたくさんの若者たちが標津を訪れ、また標津の若者たちが、札幌で自分たちの活動について発表したり、また協働のイベントを実施したりと交流を深めてきました。そこで生まれた繋がりは、事業上のものではなく、お友達のような、何があっても会いにいけるような、そんな繋がりであります。だから私たちは、その活動が有志による自主的なものになっても変わりなく、何かあればすぐに連絡し、相談し合える関係が生まれてきたのだと思います。そんな中、とある先生から標津高校の倫理の授業で地元の若者たちと連携できないかと相談をいただいたのは、今年1月。すぐに標津のために動き始めました。